

第二次佐久市総合計画 後期基本計画策定に関する 高校生ワークショップ 報告書

目次

実施概要	・・・・・・・・ 2
結果概要	・・・・・・・・ 3
佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス	・・・・・・・・ 4



快適健康都市
佐久市

実施概要

1. 目的

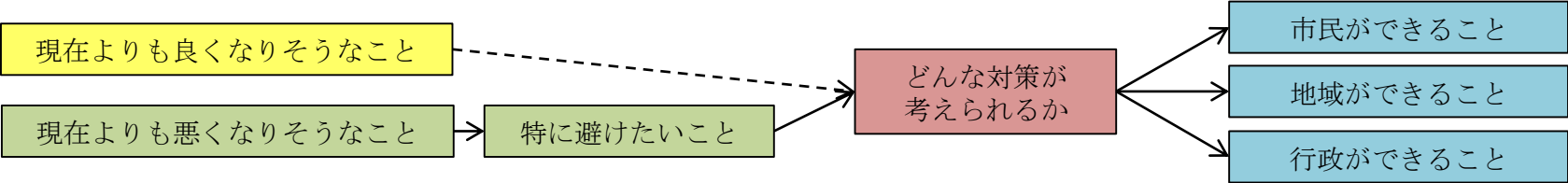
第二次佐久市総合計画後期基本計画の策定にあたり、次世代を担う若者の意見を反映させるため、高校生を対象にしたワークショップを開催し、これから地域が良くなりそうなこと、悪くなりそうなこと、対策、できること等の意向を把握する。

把握した意向については、第二次佐久市総合計画後期基本計画策定にあたっての基礎資料とする。

2. テーマ

「2030年の佐久市の状況を予測してみよう」

3. ワークショップの流れ



4. 実施日程

日時	高校名	対象生徒数
2月16日（火）16:00～17:00	佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス	22名（生徒会役員）

（注）今後の実施については調整中

5. 注意事項

- ・ 極力、原文に近い状態とする。
- ・ 重複した意見はすべて記載した（特に出された意見がわかるようにするため）。
- ・ 同じような意見は、並べ替えた。

佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス

医療・福祉・交通インフラが充実しているが、少子化による担い手不足の不安が多い。
若者向けの施策やPR、負担感を取り除くことが課題。

- 良くなりそうなこと
 - ・医療・福祉が充実し健康長寿の町になる、佐久平周辺にいろいろな建物ができ訪れる人が増加する
 - ・技術の発達による生活水準の向上、新幹線や高速インフラにより観光客が来やすい、人口減少に伴うごみ排出量の減少
- 悪くなりそうなこと
 - ・少子化による担い手不足、企業の市外移転、経済の縮小、空き家・荒地の増加、公共交通の減便
 - ・行政サービスの質の低下、文化の継承ができなくなる
 - ・介護人材の不足、食料自給率の低下、若者の負担が増える
- 必要な対策
 - ・交通の便を改善したい、民間の力を使って今あるまちの魅力をみがく、佐久の食体験
 - ・若い人たちが行きたくなる施設をつくる、観光施設（来たいと思える場所）、テーマパーク
 - ・コミュニティTVのお試し放送（ネット配信）→ 地域の行事を知る機会を増やす
 - ・佐久市の良い所や行事のPRを行う、興味・関心を持ってもらうようポスター・サイト掲載
 - ・佐久市の子育て支援を周知する
 - ・佐久市の利点をアピールをすることで企業や人を呼び込む
 - ・企業を招いて雇用を生んでもらう（規制緩和によるベンチャー企業の誘致など）
 - ・地域での催し物をしていき地域のつながりを強める
 - ・若い人に残りたいと思ってもらえるようなことを考えたり、ほかの地域の人が来たいと思うような特権をつくる
 - ・機械語の勉強を小学校から
- できること
 - 【行政】
 - ・先端技術活用モデル都市へ、プログラミング学習環境をつくる、空き家のリフォーム支援を充実させる
 - ・若い人向けのアンケートを行う（スマホアンケート）、医療をもっと伸ばす
 - ・子どもを産み育てやすい支援を充実させる、担い手を増やすための援助金を多めに出す
 - 【市民・地域】
 - ・地域にお金を落とすことでお金が循環するようにする、町をキレイに保つ、ゴミ拾い運動
 - ・イベントに参加する、地域を盛り上げる、伝統を継承する、市民が良いところを発信する

佐久平総合技術高等学校 浅間キャンパス

佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス・実施概要

場所	佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス		
日時	2021年2月16日（火）16：00～17：00		
参加者数	高校生（生徒会役員）	:	22名
	佐久市役所	:	2名
	一般社団法人長野経済研究所	:	5名
グループ数	4グループ（S・A・K・U）		
備考			



佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス・Sグループ

良くなりそうなこと

- ・医療が強化され平均寿命が延びる
- ・医療が強化され老年人口が増える
- ・健康長寿の人が増えていく
- ・高齢の方々が住みやすい市になりそう
- ・19市の中で財務状態が良好なため、これが続いていき、いざという時に使える
- ・佐久平のまわりに色々な建物ができたくさん人が来る
- ・新幹線が通っているのだから人がたくさん来る

必要な対策

- ・今ある市町村の魅力を伝える
- ・各市町村の核となる魅力をつくる
- ・交通便を改善したい
- ・民間の力をつかって今あるまちの魅力をみがく

悪くなりそうなこと

- ・若年層の人口が減り、佐久平の担い手がいなくなる
- ・少子高齢化が進んでいるため地域を担う子供達がいなくなる（いなくなってしまう）
- ・高齢者の方と若者のかかわりが少なくなり、楽しそうじゃない町になる
- ・建物が増えるかわりに自然が減る
- ・佐久市の中でも発展してる所としていない所がでてくる
- ・電車での交通の方は発達しているが、バスの交通もうが少ないと思う
- ・人が多く来ると交通事故などが増えてくる

できること

- ・人を呼び込む事も必要だが、住んでいる人達が充実した買い物などができる場所がほしいと思う
- ・コストコ、イケアを作る
- ・有名なお店を建てる
- ・人気のお店などで地元の食べ物を売る
- ・電線を減らす
- ・ドローンの活用（発達していない町や村へ荷物を運ぶドローン）
- ・最新の車のような機械についてモデル町などに積極的に取り組む
- ・5Gのモデル実験都市へ
- ・自動運転が進んだら整備を整えていく
- ・とりあえずチャレンジする

【その他出された意見】

- ・4人の学生の属性は浅間2人、浅科1人、軽井沢1人であり、浅間と軽井沢の学生は近くに必要なお店ができる店がそろっているため、そこに関しての不満点はなかった。浅科は母子家庭ということもあるので近くにお店が足りない、もしくは佐久平に気軽に行ける公共交通が欲しい、という前提があつての意見だった。
- ・その中で、電車、バス、ドローン、自動運転、5Gなどの話題は、インフラや物理的距離も問題を減らし、利便性を向上するための手段として意見が出された。
- ・一方で、わざわざ佐久の●●にまでくる必要があるという理由や目的になる場所がなければ、通過点になってしまうという認識の下で、どう魅力ある場所を作るのか、そして実はすでにある魅力ある場所のことを外部に発信していくのか？という議論がなされた。

2030 年の佐久市の状況を
予測してみよう

S グループ

医療が高度化これ、
平均寿命が伸びる。

高齢者の割合
佐久市は県内に
1位です。

若年層の人口が減り
佐久平の担い手が
減る。

高齢化が進んで
いるため仕事を続け
る世代が増えること
が必要。

建物が増える
かわりに、自然が
減る。

佐久市の中でも
発展している所と
していない所が
出てくる。

医療が高度化これ、
老年人口が増える。

19年の中で結婚
状態が変化する
ため、これに対応
していく。

若年層の方と若者の
割合が少なくなる
可能性がある。

変遷でこの通りは
変遷しているが
19年の時点では
まだある。

人が多く来ると
交通事情なども
増える。

佐久市の周りに
色んな建物が増え
た人たちが来る。

新幹線が
通っているから
人々が来る。

健康長寿の人か
増えていく。

今の市町村の
境目を仮定する。

各市町村の
境目を仮定する。

交通便を改善
していく。

民間企業への
参入を促す。

人を呼ぶ仕組みを
作るため、住んで
いる人達が無意味な
費用を払って仕事
場所に行かなくて
いい。

コストを
減らす。

最新の最新の設備
にアップデート
していく。

最新の最新の設備
にアップデート
していく。

有名なお店を
建てる。

人々の生活と
地域の文化
を繋ぐ。

ドローンの活用
を推進する。

5Gのモデル
実験者への
参入。

とりま
チャレンジする。

佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス・Aグループ

良くなりそうなこと

- ・佐久平の工業や産業が発達して生活が楽になっていく
- ・産業が発達して移住してくる人が増え子どもが増える
- ・技術の発達による生活水準の上昇
- ・人手不足による賃金の上昇
- ・人口減少に伴うごみ排出量の減少
- ・ごみ処理に対しての整備が進み生活環境の改善
- ・建物などが増えてほかの地区からの訪問者が増える
- ・医療体制が整い健康長寿のまちになる
- ・地域住民の高齢化にともなって医療体制の発展
- ・満員電車に乗らなくてもよくなる

必要な対策

- ・市民のルール、佐久ルールブックをつくる
- ・地域、市役所などが率先して植物を増やす取り組みをする
- ・市役所がどのような子育て支援を行っているのか、これから子育てをする世代の人に知ってもらえるようにする
- ・佐久市の利点をアピールをすることで企業や人をよびこむ
- ・企業を招いて雇用を生んでもらう
(規制緩和によるベンチャー企業の誘致など)
- ・地域での催し物をしていき地域のつながりを強める
- ・若い人に残りたいと思ってもらえるようなことを考えたりほかの地域の人が来たいと思うようなとっけん？をつくる

悪くなりそうなこと

- ・産業の衰退
- ・人口減少による経済規模の縮小
- ・発展した地域に人が集まり、そうでない村などの人が減る
- ・交通の不便さから若い人が中心街へ移住してしまう
- ・地域ごとの顔のつながりが減ることで災害時などに助け合うことが難しくなる
- ・電車の本数が減る
- ・空き家が増える
- ・手のつかない畑が増えて荒れ放題
- ・経済格差が広がる
- ・税収の減少による行政サービスの質の低下
- ・町がきたなくなる可能性がある
- ・植物が減って安心できる場所が減る
- ・労働力不足による企業の移転

できること

- ・市民に関心を持ってもらうためにSNSなどを通じて情報を発信する
- ・イベントに参加する、地域を盛り上げる
- ・行政が空き家をリフォームするなどして住もうと計画している人たちに
対して支援を充実させる
- ・地域でお金を落とすことでお金が循環するようにする
- ・公園など憩いの場をつくっていく
- ・イケアとコストコにきてもらいたい
- ・佐久の景観づくりに力を入れる
- ・佐久市をきれいに保つ
- ・町をキレイに保つ、ゴミ拾い運動
- ・他の地域の人も安心できるような行動を心がける

【その他出された意見】

- ・健康長寿のまちであることは、今後日本全体として高齢化が進んでいく中で、プラスに捉えられる材料ではないか。
- ・大きな商業施設を作りたい一方で、軽井沢や上田が近くにあるため、現実的ではないかもしれない。
- ・佐久平周辺とその他の地域等、市内における様々な格差が出ないか心配。
- ・地域住民同士のつながりが希薄になりつつあるが、移住者が増えていることや災害時のことを考えると、重要性を再認識する必要があると感じる。

A グループ

【付属の色】

黄色…良くなりそうなところ
緑色…悪くなりそうなところ
赤色…注意が必要
青色…市民・地域・行政がより

町でキレイに
保つ。

佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス・Kグループ

良くなりそうなこと

- ・医療、福祉が充実しているので今後も寿命は伸びていきそう
- ・医師数、看護師数が多いので医療が充実し、平均寿命が延びる可能性がある
- ・じゅみょうがのびる！
- ・建物が増える（公共的な）
- ・こうそくどうろがつくられる！

必要な対策

- ・機械語の勉強が小学校から
- ・こいのレシピを考える！
- ・赤ちゃんをたくさんつくる！
- ・どうろをなおす！
- ・工場つぶす
- ・地域のPRになるものが残っている

悪くなりそうなこと

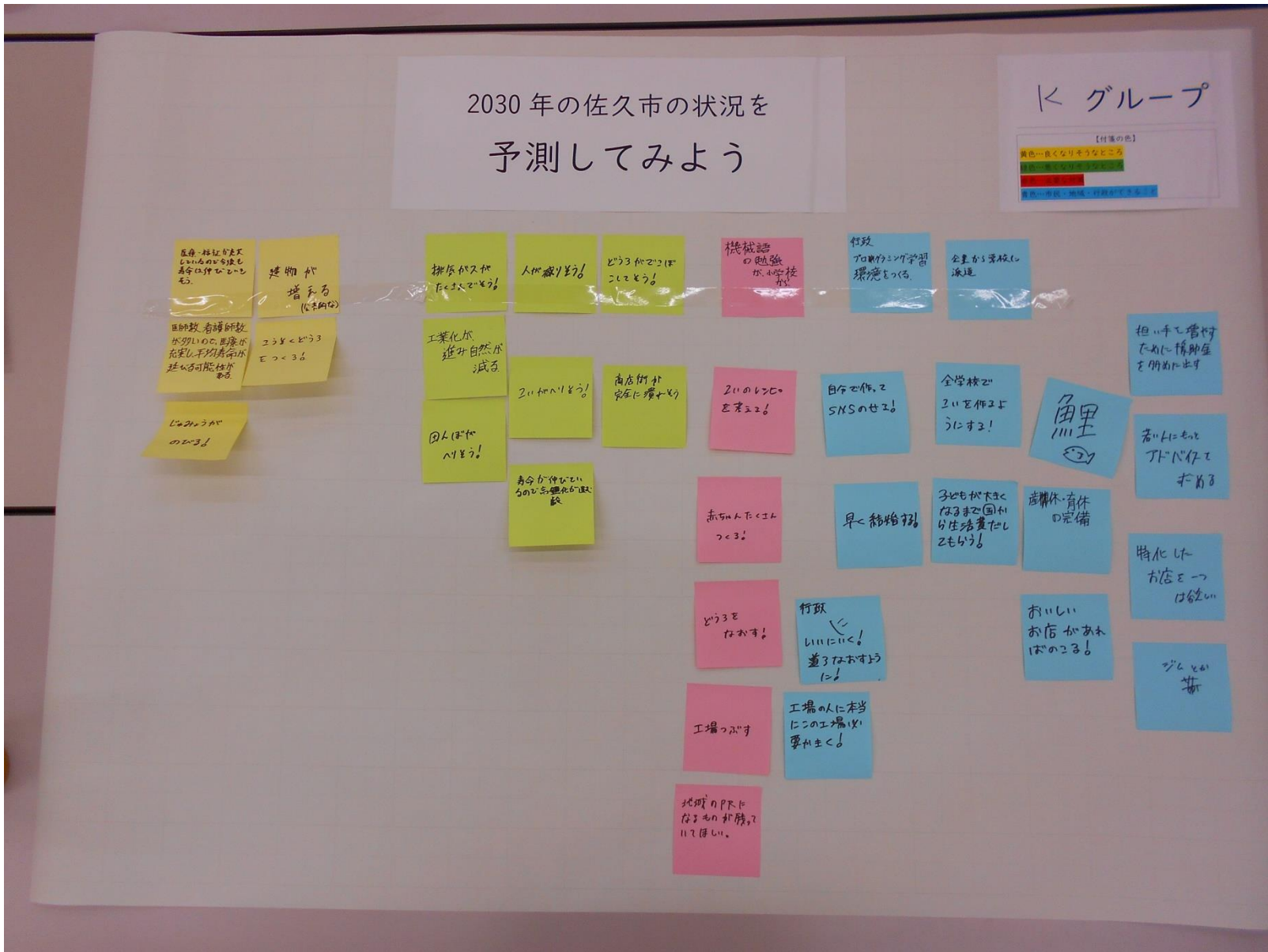
- ・排ガスがたくさんでそう！
- ・工業化が進み自然が減る
- ・田んぼがへりそう！
- ・人が減りそう！
- ・こいがへりそう！
- ・寿命が延びているので高齢化が進む
- ・どうろがでこぼこしてそう！
- ・商店街が完全に潰れそう

できること

- ・【行政】プログラミング学習環境をつくる
- ・企業から学校に派遣
- ・自分で作ってSNSのせる！
- ・全学校でこいをつくるようにする！ ・鯉
- ・担い手を増やすために援助金を多めに出す
- ・若い人にもっとアドバイスを求める
- ・早く結婚する！ ・産休、育休の完備
- ・子どもが大きくなるまで国から生活費出してもらう！
- ・特化したお店を一つはほしい ・おいしいお店があればのこる！
- ・ジムとか
- ・行政にいいにいく！道路なおすように！
- ・工場の人に本当にこの工場必要かきく！

【その他出された意見】

- ・当たり前暮らしているので、良いところや悪いところをあまり感じる事が出来ない。変える必要性もあまり感じないが…
- ・特産物を嫌いな人でもおいしいと食べられる商品の開発とPR
- ・地元企業のことを良く知らないため、地元で働く選択肢が出てこない。企業と高校などの連携による企業からの講師派遣があれば、その企業の魅力やどんな人材を求められているのか、将来に向けてどんな勉強が必要なのかが見えてくるのでは。



佐久平総合技術高等学校浅間キャンパス・Uグループ

良くなりそうなこと

- ・高齢化率が上がっているため、高齢者への手当てやサポートが手厚くなる
- ・高齢者が増えるにあたり食品の配送サービスが増える
- ・交通手段が多いので、佐久市に行きやすく人が来やすい
- ・少子化により学校のクラス人数が減るため、1人1人への教育に力が入る
- ・人口が増えることで今まで行われてきた行事の規模が大きくなり、県外から訪れる人が増えるかもしれない
- ・観光客の増加
- ・大企業が多い

必要な対策

- ・若い人たちが行きたくなる施設の合体
- ・娯楽施設の建設、コミュニケーションが取れる場所
- ・大きいショッピングモールを作る！
- ・屋外のスケート場（寒い環境を活かす）
- ・観光施設（来たいと思える場所）
- ・テーマパーク ・佐久の食体験
- ・コミュニティTVのお試し放送（ネット配信）
→地域の行事を知る機会を増やす
- ・交通手段が少ない地域（望月）ともつながれるようにする
- ・入ってきた人を逃がさない（佐久を好きになってもらう）
- ・空いている土地、佐久市の良い所や行事のPRを行い興味、関心を持ってもらう、サイトに掲載やポスターを作る

悪くなりそうなこと

- ・若者が減っているため若者の負担が増える
- ・介護人材の不足
- ・少子高齢化による人口の減少、福祉施設の不足
- ・アンケートの若い人の回答者率が低いので若い人を佐久市に引き留めないと高齢化が進んでしまう
- ・地域から人が減ると使われなくなる学校、土地、家などが増え管理の手が行き届かなくなる（空き家問題）
- ・電車、バスの本数が減りそう
- ・昔からある文化の継承ができなくなる（文化の問題）
- ・様々な施設を建設するときの自然破壊
- ・食料自給率の低下

できること

【行政】

- ・若い人向けのアンケートを行う
（市にやってほしいこと、不満、満足していることなど）
- ・市民が見たくなるようなHPを作る
- ・若者も参加できるようにスマホアンケートを作る
- ・医療をもっと伸ばすべき（実感がない）

【市民】

- ・HPなどを見て、今の佐久の現状を知る
- ・年内にどんな行事があるのか知る
- ・佐久市民から良い所などたくさん教える

【地域】

- ・HPに魅力などをわかりやすくかき、観光客へ伝える、不安をなくす
- ・伝統の継承（さかき祭、地域の祭）

【その他出された意見】

- ・佐久の食を体験する機会が増えれば観光客や移住者も増加が期待できる。佐久市では鯉やプルーン、リンゴが有名。
- ・今回のワークショップを機に初めて市のホームページを見た。自分も含めて市のホームページを見ている人は周りにはいないため、行政には、市民が見たくなるようなHPを作ってほしい。一方で、市民側も、アンテナを立てて自分から情報を収集することが大切だと感じた。

